10月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和8年10月6日(火)
午前10時30分～
地域交流センター第3・4研修室

出席委員　職務代理　小山正文　　委員　高野羊子
委員　坂口曜子　　委員　小松小百合

出席職員　麻績保育園長　塚原京子　　麻績小学教頭　滝沢聖二
筑北中学校長　大鷹宏彰　　教育長　加瀬浩明
次長　宮下信俊　　係長　森山正一　　主任　髙野智弘

一　開会(宮下教育次長)

令和8年10月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

二　教育長挨拶(加瀬教育長)

教育長:　昨日から通学合宿が始まっております。子どもたち元気で楽しそうに生活しております。まだ始まったばかりなので元気なのですが、後半になるにしたがって疲れも出てくることもあるかもしれません。いずれにしても良い機会だと思っております。明日は東筑教育委員の研修会があります。お世話になりますがよろしくお願いします。

それでは10月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

三　報告

(1) 教育長報告

宮下次長:　報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

教育長:　先ほどお話しした通り通学合宿が始まりました。委員の皆様方にも開会の様子を見ていただきました。全て信州大学の学生が対応しています。今年は学生の数も多くて、子ども一人に学生が二人ついているような状況であります。一人ひとりに目を配って体調管理もしています。しかしながら、寒い日が続いていますので体調を崩さずに頑張ってほしいと思います。いずれにしても一週間の集団生活でありますので、良い思い出をつくってほしいと思います。

9月の中旬から10月前半にかけては、中学の文化祭や保育園の運動会など大きな行事が続いております。この後も非常に忙しい日程になっています。ぜひご協力をお願いします。明日は、東筑教育委員の研修総会があります。私の台風19号災害についての話をすることになっています。以上です。

宮下次長: 報告いただきましたが、委員の皆様からご質問等ありますか。

宮下次長: 続いて子育て支援コーディネーター報告に移ります。

(2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

髙野ＣＯ:(以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて保育園長報告に移ります。

塚原園長: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて中学校長報告に移ります。

大鷹校長:(以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて小学校長報告に移ります。

滝沢教頭:(以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それぞれからご報告いただきましたが、委員の皆様からご質問等ありますか。よろしいでしょうか。

大鷹校長: 保育園の運動会は今後も平日開催ですか。北部吹奏楽祭の日をどうするか。また、相談しながら進めていきましょう。

坂口委員: 保護者としては平日開催でも全く構いません。ただ平日開催が増えると頻繁に休みをとらなければならなくなります。「金曜日開催は困るよね」という声は私の耳には入ってきていません。

小松委員: 放課後子ども教室の件でお願いします。今スクールパートナーズは機

能していますか。せっかくあるので機能してくれるといいですね。

宮下次長: 我々としてもスクールパートナーズが機能するようにしていきたいと感じております。
その他いかがでしょうか。よろしいですか。

（3）教育委員の任命について
・9月定例議会において同意案件議決
10/1～ 高野羊子委員（任期：R12.9.30）

宮下次長: 9月の村議会定例会における同意案件ですが、高野羊子委員の第2期が10月1日よりスタートしております。引き続きよろしくお願いいたします。

四 協議事項

教育長: 本日は特に決めなければならない事項はございません。

五 その他
1） 各委員から

教育長: 委員の皆様から何かございましたらお願いします。

小松委員: さまざまな行事があって、それぞれさまざまな経験ができて、良い育ちができていると感じています。

坂口委員: 子どもが小さいころ、一緒に田んぼの作業に連れていくと大変でした。しかし、先生からの連絡帳に「どんなに小さくても親のやっていることは必ず見ているからすごく大切な経験です。」と書いてあったことを思い出します。今では当たり前のように手伝わなければと思うようになりました。すごくありがたいです。小さいころは大変だったけれど、現場に連れて行ったことが今につながっていると感じています。わくわくの村では、家ではできないような経験させてもらっています。自然とかかわることや経験することがとても大切なんだと思いました。

高野委員: 10月1日から再び教育委員としてお願いいたします。今までの4年間は力を出せずに皆さんにご迷惑をおかけしました。微力ながら頑張っていきたいと思います。

平成24年から28年頃、養護学校への就学ニーズのある子どもたちが3名いました。以前お世話になった先生方が尽力してくださって、小学校に特別支援学級を新たに作っていただいたことがありました。手あつく麻績小学校で見ていただきました。

ついこの前、同窓会ということで、お世話になった先生方、校長先生を含め、12,3名に来ていただきました。

先生の感想中で、給食のとき、かたくり教室の子どもは、手先が不器用で牛乳の蓋が開けられませんでした。その時、同じ学年の子どもが、開けてくれるのではなく、一旦開けて、それを元に戻しておいてくれたそうです。それで、そんなに力を入れなくても蓋が開けられたというわけです。インクルーシブな学校生活の中で、子どもたち一人ひとりが自然な形でかかわっていました。

まだもう少し力を発揮できるのではないか、村としてお願いできるのではないかと感じるところもあります。教育委員会として、卒業後のことに関しては、なかなか手が出せないところがあるような気がしています。特定相談支援事業所を麻績村に設置していただきたいと思います。学校それから卒業後の連携が取りやすくなるのではないかと思います。生まれてから学校卒業後も相談できる場所の設置を探っていただきたいです。特定相談支援事業所これを村営でできるかどうか。山福が窓口となっていますが、麻績村としてこういうところがあると今後子どもたちの支援に関わっていける力となるのではないかと思います。

教　育　長: 課題として受け止めました。ありがとうございます。

小山職務代理: 筑北祭に行って中学3年生は、少人数でいろいろ心配されましたが、リーダーとして成長したなと改めて感じました。大町市の踏切事故について原因は公表されていません。麻績にも踏切が何か所かあります。注意しなければならないと思います。二十数年前に坂北で踏切事故がありました。叶里の踏切は聖高原駅に近いものですから注意が必要です。この頃は日が短くなってきましたので、車には注意しなければならないと思います。歩行者は反射材等を身に付ける必要があると思います。

2）事務局から

教　育　長: 明日の東筑摩郡町村教育委員会研修大会について確認させていただきます。

宮下次長: 明日、交流センター3階の会場となります。麻績村を主会場として実

施ます。開会行事は 14 時からとなります。主催者挨拶に続いて表彰は、令和 7 年度の退職者はいなかったため、該当者なしと報告させていただきます。来賓祝辞として、地元村長、中信教育事務所長、塩筑校長会長がお越しいただける予定となっています。協議事項については、来年度の開催地についてです。来年度は生坂村が当番となります。

開会行事の後、研修となります。教育長より東北中学校の被災記録ということでお話をいただく予定としております。

研修の後は会場を移しまして、現在実施中の通学合宿の見学となります。合宿の見学の後、意見交換会を行います。シェーンガルテンにて懇親会となります。各村の委員さんと来賓（村長のみ）を合わせて、26 名ほどの出席の見込みです。

次に、10 月 23 日の上田市で行われます長野県市町村教育委員会研修総会についてであります。上田の丸子で行われます。今のところ全員に出席いただける予定です。開会式は 9 時 50 分からとなります。当日の集合場所は交流センターに 8 時 30 分に集合をお願いします。令和 9 年度の分散会における実践発表が麻績村に回ってくる予定です。分散会の様子をそれぞれ学んできていただきたいと思います。以上となります。

教 育 長: 委員の皆様からご質問等ありますか。よろしいでしょうか。

3）次回予定

次回の定例教育委員会の日程　　11 月 6 日（金）　午前 9：30～

六　閉会

教 育 長: 以上をもちまして、10 月の定例教育委員会を閉じます。